

Hello, spring!

最上総合支庁ニュース

2026年4月号

MOGAMI

最上総合支庁キャラクター

モガミル

最上地域のイニシャル「M」にアンテナを付けた形に見立て、地域の情報を広く発信する姿を表現しています。



X

HD

発行元 最上総合支庁総務企画部
総務課 総合案内窓口
電話：0233-29-1360
FAX：0233-23-2605



新庄市エコロジーガーデン 菜の花畑

新年度のご挨拶

高く積もった雪も解け、令和8年度がスタートいたしました。就任2年目となります支庁長の齋藤です。

昨年度初めて最上地域に赴任し、1年間の中で様々な出会いと交流、発見がありました。まず一番に感じたことは、何とんでも地域の方々の人柄の温かさ、優しさです。そして管内には、美しい自然、豊かな食文化をはじめ、歴史ある温泉、伝統文化・伝統行事など盛り沢山の魅力が詰まっています。また、米、野菜、花、きのこなど研究を重ねながら誇りを持って作っている農業者の方々、世界に誇る技術でものづくりに励んでいる企業の方々もいます。これらの数多くの魅力と人材に目を向け、最上地域ならではの宝を最大限に活用していきたいと思っています。

今年度の事業については、まず、最優先課題である令和6年豪雨災害からの完全復旧・復興に向けて、引き続き全力で取り組んでまいります。また、若者定着・人材確保のための事業や、「新庄・最上ジモト大学」の取組みなどにより、若者が地域に関わる機会を増やし、最上の未来を担う人材の育成に取り組んでまいります。そのほか、国内外からの観光誘客促進に向けた戦略的な売り込みの強化、地域特産物の生産振興、広域交通ネットワークの整備、地域医療の充実などに取り組んでまいります。

今後も、市町村や関係団体の皆様と十分に連携を図り、現場での対話を大切に、最上地域の発展に向けて取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



最上総合支庁長 齋藤千賀子

若手職員の視点から『最上を元気に!』

最上地域政策研究所は、最上管内8市町村と最上広域市町村圏事務組合、最上総合支庁が共同で設置した機関です。各自治体職員がメンバーとなり、地域課題の調査・研究を通して職員の政策形成能力の向上を図っています。

3月12日(木)、第7期(R6~R7)研究活動終了式を行いました。第7期の研究員は「新たな財源の確保等による持続可能な地域展開」をテーマに、2年間の活動を行いました。研究成果をまとめた報告書を県ホームページで公開しておりますので、ぜひご覧ください。

そして、4月23日(木)、第8期(R8~R9)研究活動の幕開けとして、市町村と最上総合支庁から推薦された若手職員9名に対し、辞令交付を行いました。今期のテーマは「多様な担い手との共創で最上を元気に!!」です。研究員は、若手職員らしい自由な発想で政策を提案し、実際に県や市町村の事業として採用されることを目指します。最上総合支庁では、研究活動をしっかりサポートしてまいります。



↑第8期の研究活動メンバー（辞令交付式にて）

成果報告書は
▼こちらから



[連携支援室 29-1239]

東北農林専門職大学新入生バスツアー

4月18日(土)、「東北農林専門職大学新入生バスツアー 見て！食べて！体験して！『最高の魅力を発見・体感しよう』」を開催しました。

このツアーは、東北農林専門職大学の新入生が今後4年間、学びや生活のフィールドとなる最上地域の魅力を知り、体感することで、最上地域への愛着や地域住民との交流、地域活動への参画につなげたいとの趣旨で開催したもので、開学当初から毎年実施しています。

当日は19名が参加し、四ヶ村の棚田見学や最上川舟下りの体験、また、(有)舟形マッシュルームさんの生産現場視察など、管内の見どころ、要所を巡りました。昼食にはレストラン ラ・テール舟形さんにて地域の食材をふんだんに使用した贅沢なフランス料理もいただきました。

参加した学生は、最上地域の魅力を満喫した様子で、農業生産法人を訪問した際には、真剣な面持ちで代表の話に耳を傾け、一経営者として将来の自分の姿を重ね合わせていた様子でした。

参加者からは

「地域を知ることができ、参加してとても良かった」

「いつか家族や高校時代の友人など連れてきて紹介したい」

「今後は積極的に最上地域のイベントに参加したい、観光スポットへ出かけたい、地域とのつながりを大切にしていきたい」

などの感想が寄せられました。

今後も引き続き、大学と地域との交流促進を図り、最上地域の活性化に取り組んでまいります。
[連携支援室 29-1235]



春の交通安全県民運動出発式 「互いに守る 思いやり」

4月6日(月)、最上広域交流センターゆめりあ「花と緑の交流広場」において「令和8年度春の交通安全県民運動最上地区出発式」が実施されました。

最上総合支庁長、新庄警察署長の挨拶の後、最上地区交通安全母の会連合会会長の「安全宣言」、舟形町にお住まいの伊藤みどりさん、伊藤さおりさん、伊藤大悟さんによる「交通安全決意表明」が行われました。

出発式の最後にアトラクションとして、舟形町の幅神楽保存会の皆さんから、春の交通安全県民運動の始まりにふさわしい「幅太々神楽」の演舞を披露していただきました。

出発式終了後、キャラバン隊が出発し、地域住民一人ひとりの交通安全意識を盛り上げるため、管内各地で広報活動を行いました。



[総務課防災安全室 29-1209]

交通事故に気を付けて

4月10日(金)、最上地区交通安全対策協議会(会長：最上総合支庁長)では、「春の交通安全県民運動」(4月6日～15日)に合わせ、最上総合支庁長をはじめとした幹部職員による交通安全街頭啓発を行いました。

新庄市内の小学校の校門前で、交通ルールや通学路に不慣れな新入学児童をはじめ、登校する児童生徒に「交通ルールを守ろう」と呼びかけました。

未来ある子供たちを交通事故から守ることは大人の責任です。県民みんなで思いやりを持って、交通事故を防ぎましょう。



[総務課防災安全室 29-1209]

JAL パリ支店主導視察旅行を受入れ

令和7年度から管内で実施している高付加価値インバウンド招聘事業の取組みを受けて、2月23日(月)～2月24日(火)に DEGAM 鶴岡の Sara 氏がフランスからのエージェント4名を神室エリアへ案内しました。最上地域観光協議会としては、エージェントの受入れ及びガイド対応に協力し、ホテルシェーネスハイム金山での芋煮体験や金山町の街歩きなど、神室エリアで森と共に“今”を生きる人々「Kamuro's Moribito」の旅をご紹介しました。

参加したエージェントからは、「神室エリアの方のおもてなしに心が動かされた」、「近いうちにフランス人のグループを送客したい」といったフィードバックをいただきました。今後は神室エリアのコンテンツの磨き上げを行っていくとともに、管内におけるほかのエリアの魅力発信にも努めてまいります。

[観光振興室 29-1311]



芋煮と一緒にいただくおにぎりを握っています…🍣

地域農業に新しい息吹を

3月2日(月)、「ゆめりあ」で、新たに就農し農業経営に取り組んでいる方、今春から新たに農業をスタートする方を対象に「最上地域新規就農者研修会」を開催しました。参加者は新規就農者11名、農業士9名、関係機関等全体で48名となりました。

研修会では、先輩農業者からの講話や新規就農者向けの事業・支援制度・収入保険の紹介、地域や品目ごとに分かれた相談会を行いました。講話では、地域の若手リーダーである青年農業士から新規就農者へ「就農のきっかけや当時苦労したこと、やっておいた方が良かったこと」などのアドバイスがありました。相談会では、新規就農者から規模拡大方法、周囲の生産者との関係構築、経営の方向性、栽培技術等様々な質問が寄せられ、農業士や市町村、JA、やまがた農業支援センター、NOSA | 山形、東北農林専門職大学、普及課等の職員が助言を行いました。農業技術普及課では、これからも関係機関と連携し、新規就農者が安心して農業を行えるよう支援してまいります。

[農業技術普及課 29-1322]



にら「達者de菜」のブランド力をアップ!

3月18日(水)、新庄市民文化会館において、最上地域のにら生産者及び関係者を対象に「にら「達者de菜」ブランド研修会」を開催しました。研修会には生産者や関係者等約60名が参加し、公益社団法人緑の安全推進協会の杉元直樹氏を講師として、農薬の基礎知識や効果的な使い方についての講演を聞きました。

講演内容は、農薬を安全に使用するための服装や記録の残し方、状況に合わせた農薬の選び方などの具体例や動画を使用し、わかりやすく説明していただきました。講演後には生産者から積極的に質問が出され、「農薬を扱うものとして改めて責任を感じた」、「講演を参考に農薬の選び方を工夫していきたい」という声も聞かれました。今後も、産地強化に向けた技術支援を行ってまいります。

[農業技術普及課 29-1325]

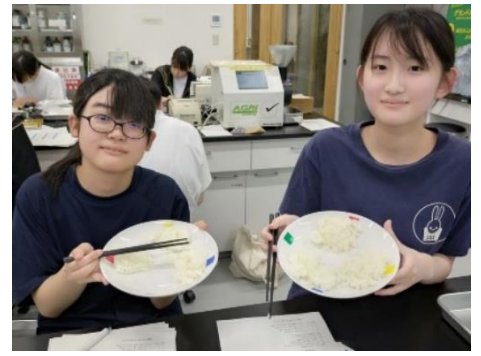




“声”って大事！

「腹式呼吸や母音法を覚えて、声の通り方が良くなった」

【7/27,8/2】演じるって面白い！
～発声・演技のワークショップ～



お米を「食べて」測定！

「米のおいしさや品種による味の違いが理解できた」

【8/5】最上のコメの美味しさを探る

手話のゲームにチャレンジ！

「聴覚障がい者の方の表情の豊かさや温かさを感じた」

【6/8】手話コミュ 謎解きゲーム



プログラムの様子は
YouTubeでも発信中！

地域の大人と高校生が地域のことを本気で語り、学び、交流する場である「新庄・最上ジモト大学」。

昨年度は、39のプログラムを実施し、延べ804名の高校生に参加いただきました！

今年度でジモト大学は10年目を迎えます。昨年度に引き続き、魅力ある多彩なプログラムを開催し、地域の新たな活力を生み出せるよう、地域一体となって取り組んでまいります。[連携支援室 29-1236]

販売員体験中！

「お客様だけでなく、地域と関わる企業の姿勢が学びになった」

【8/7,8/8】無印良品
感じよい暮らしと社会を目指して



聴診器を当てて真剣集中！

「普段できない体験ができて楽しく、為になった」

【10/14】体験しよう！
最上医療フューチャーラボ



裏方って大事！

「コンサートに関わる専門的な職業について知れた」

【8/17,8/19】コンサートの創り方、
舞台裏の仕事教えます



令和6年7月の大雨災害復旧状況

被災した公共土木施設については、令和8年3月末現在、県管理道路は全ての工事が契約済み、完成率は約7割となっており、河川は約8割が契約済み、完成率は約3割となっています。農地・農業用施設・森林関係施設は約9割が復旧を完了しています。引き続き、完全復旧・復興に向けて全力で取り組んでまいります。

[地域産業経済課 29-1303、道路計画課 29-1399、最上地域豪雨災害復旧対策室 29-1433]

1 各被災施設の災害復旧工事の発注状況（令和8年3月末時点）

区分	被害面積 又は箇所	契約済み又は執行中		工事完成（復旧完了）	
		面積又は箇所	執行率	面積又は箇所	完成率
公共土木施設（県施工分）					
県管理道路	93箇所	93箇所	100%	62箇所	67%
県管理河川・砂防	301箇所	239箇所	79%	79箇所	26%
農地・農業用施設（県・市町村施工分）					
農地	622ha	620ha	99%	526ha	85%
農業用施設	1,828箇所	1,782箇所	97%	1,571箇所	86%
森林関係施設（県・市町村施工分）					
林地・治山施設	25箇所	25箇所	100%	17箇所	68%
林道施設	127箇所	126箇所	99%	126箇所	99%

2 復旧状況（写真は令和8年3月完成のもの）

【安楽城小国川（真室川町大沢地内）】



破損した護岸を復旧しました

【松橋川（舟形町堀内地内）】



令和6年豪雨災害 最上地域
復旧工事デジタルマップ 公開中

道路災害 復旧工事 箇所マップ
河川災害 復旧工事 箇所マップ

第10回最上小国川 写真コンテスト表彰式

2月26日(木)に「第10回最上小国川写真コンテスト」の表彰式を最上町中央公民館で開催しました！

最優秀賞に選ばれた玉浦翔平さん（写真中央）は、受賞作「川遊び大好き！」に写っているお子様も連れてこられ、「最上町の自然と子どもたちの笑顔に恵まれた1枚だと思う。」とコメントいただきました。なお、全入賞作品を掲載した、「最上小国川カレンダー2026」を、先着配布中です！

詳しくは担当までお問い合わせください。

[連携支援室 29-1238]



屋外での火の取扱いには注意を！

春は雪解けとともに行楽や山菜採りで山に入る方、農繁期の到来に伴う準備を行う方が増え、山火事が発生しやすい時期です。

県では山火事予防活動に取り組んでおり、4月15日(水)に地域の皆様に注意喚起を促すため山火事防止キャラバンを実施しました。皆さん屋外での火の取扱いには注意しましょう。

[森林整備課 29-1347]



Information

山形新幹線つばさで運ぶ！

東京駅直送人気グルメ限定販売

5/6 水
10:00-15:00

売り切れ次第終了！

@もがみ物産館

【5月6日（水・祝）】に、列車輸送サービス「はこビュン」を活用して山形新幹線「つばさ」で輸送した首都圏の人気グルメを、もがみ物産館で限定販売します！贅沢な逸品の味をご家庭でお楽しみいただけます◆

2月22日にも同様の限定販売を実施したところ、1時間半で全商品完売になるなどご好評いただきました。今回はその第2弾として、商品の種類も個数もボリュームアップ！ぜひお越しください♪ [連携支援室 29-1238]

<販売商品例>※画像はイメージです



堂島ロール(ハーブ)



紀ノ国屋のベーグル



松露サンド



叙々苑弁当



浪花寿司 ...etc

詳細はこちら↓を
チェック！



「適塩ランチ」で自分の健康を守ろう！

今年度も年間4回の提供を
予定しています。

場所：最上総合支庁「千起」

時間：11時半～14時

日時：6/19(金)・8/19(水)

11/19(木)・2/19(金)

どなたでもご利用できます！



適塩ランチでは、食塩相当量を **2.5g 以下 (※1)** に設定し、野菜を **180g 以上 (※2)** 使用しています。

※1 県の食塩摂取目標量 8g の 3分の1 以下

※2 1日の野菜摂取目標量 350g の半分以上

適塩でおいしい、野菜たっぷりのメニューをぜひお試しください。そして毎日の食生活の参考にしてみてください。

[地域健康福祉課 29-1267]

「減塩・ベジアップ」のレシピ・調理動画が完成！

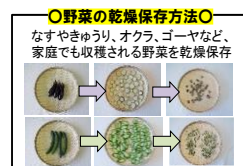
山形県 YouTube チャンネルに掲載されています。
ぜひご覧になり、ご活用ください。[地域健康福祉課 29-1267]

【うまい野菜の保存でベジアップ】



○野菜の冷凍保存方法○

きゅうりもスライスして冷凍保存



○野菜の乾燥保存方法○

なすやきゅうり、オクラ、ゴーヤなど、
家庭でも収穫される野菜を乾燥保存

【秘密の減塩テクで心も体も◎すうまいる！】

▼献立▼

～金山小学校給食紹介～



『すこやかもがみ
金山小学校給食
紹介』で検索！

有毒植物による食中毒に気を付けよう！

スイセンをひろこ（アサツキ）やニラと間違えるなど、有毒植物を野菜や山菜と間違えて食べたことによる食中毒が発生しています。誤食を防ぐため、次のことに注意しましょう。

★食用の植物と確実に判断できない植物は、絶対に採らない・食べない・売らない・譲らない。

★山野では、山菜と有毒植物が混生することがあるので、慎重に採りましょう。

★山野草を食べて、異常を感じたときは、残品を持って早急に医療機関を受診しましょう。



有毒：スイセン

ニラやアサツキのような
匂いはない
丸型の球根がある

[生活衛生室 29-1261]

5月31日は「世界禁煙デー」 5月31日～6月6日は禁煙週間

たばこはがん、ぜん息、心臓病、脳卒中、歯周病、慢性閉塞性肺疾患（COPD）等のリスクを高めます。また、たばこには強い依存性があり、自力で禁煙することが難しいとされています。さらに、周りの人がたばこの煙を吸ってしまう「受動喫煙」により、周りの人の健康にも影響を与えることが明らかであり、様々ながんや心臓病、子どもの喘息・中耳炎等のリスクを高めるとされています。

令和4年県民健康・栄養調査の結果では、山形県全体の喫煙率は17.2%ですが、最上地域は22.7%と高い状況です。

自分や周りの大切な人の健康のために、禁煙に取り組んでみませんか？ [地域健康福祉課 29-1267]

